

原水協活動 FAX News

発行:原水爆禁止日本協議会

電話03 5842 6031 FAX03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2009年1月16日 No. 5

ビキニデーへ向け全国で多彩なとりくみ

成人式宣伝と全戸訪問をセットで - 愛知

愛知県下各地では成人式宣伝と併せて、核兵器廃絶や憲法9条の署名を取り組みましたが、県平和委員会と北区平和委員会は共同して、成人式宣伝と市営住宅の署名訪問を行いました。当日、会員の子も2人を含め、19人で行動。雪が吹き付けるときもありましたが、元気な行動となりました。成人式宣伝では、4月に行われる市長選挙をめざし、革新市政の会の皆さんとも一緒に行動。宮前小学校前を訪れる、新成人と父兄の方に次々と訴えました。対象は80人でしたが、「あ、やります」「いいですよ」と半数を超える方が署名をしてくれ51筆寄せられました。

終了後に、大曽根住宅(約500件)への全戸訪問を実施。地元の方が事前にお問い合わせを入れていたため、なかなかの反応。午前午後とのべ9組が各戸を訪ねました。



ピンポンとベルを鳴らすと、待っていましたよという雰囲気です。署名を差し出してくれる人、「平和委員会です。核兵器廃絶のために署名を集めています」と訴えると、少し考え署名をしてくれる人、「益川さん知ってます?張本さんも...」と訴えると、「核兵器なくさんといかんもんねー」と署名をしてくれる人など、うれしい反応も。全体を通じて、10件をこえる方が署名を書いてくれ、中にはお願い通りにドアに貼り付けてくれる方もみえました。

行動中、住宅前では宣伝カーでアピール。ここにも署名をしてくれる人が集まってくれました。中には、「さむいのに大変ねー。トイレ使いたかったら、私の自宅に電話して」と電話番号を教えてくれる方もみえ、もう感激って感じも生まれました。今回の行動は、3ラウンドで197筆が寄せられました。

議員と一緒に訪問 - 徳島

徳島県原水協は1月15日、井出美智子・森本守勝浦町議とともに、勝浦町、勝浦町議会、婦人会、勝浦商工会、老人会、勝浦町立病院、勝浦農協、生比奈農協、喜楽荘の9ヵ所を訪問。「核兵器のない世界は、軍事費も減って暮らしもよくなりますね」と勝浦町の折野好信副町長。秋成婦人会長は「平和が大事、核兵器はいけません」と署名用紙を預かってくれました。河内老人会長も引き受けてくれました。二つの農協では「顔ポスター」を貼ってくれることになり、県原水協は慌ててポスターの注文。張本選手などの顔ぶれが好評です。井出町議員は「アピール署名は人口8千人の時6千筆集まりました。かつて米ソだけで8万発の核兵器が現在2万6千発、今度はゼロにさせる署名と聞いて、頑張りたい」。森本町議も「原水協通信」を購読、「世界大会に参加したい」と話してくれました。

3・1ビキニデーへとりくみ強化よびかけ

民医連、新婦人

全日本民医連は各県連会長、事務局長、社保平和担当者あてに3・1ビキニデーへの参加と資材普及・活用をお願いを出しました。この中で「今年のビキニデーは2010年に向けて全国的行動を開始する出発点」と位置づけています。

新日本婦人の会中央本部はビキニデーパンフで学び、署名推進のため班・支部から代表派遣を、とよびかけています。

運動強めようと体制強化も確認

15日午後、運動を全県に広げる体制を！と県原水協役員選考委員会を開きました。3月14日の県原水協定期総会に向け、加盟団体を増やすこと、地域原水協（自治体単位、または郡単位で）の確立めざし、推進体制を協議しました。代表理事や事務局次長の増、団体および地域からの常任理事・理事を増やします。

新成人から昨年を上回る署名寄せられる - 岩手

原水爆禁止北上利賀地区協議会は11日、北上市さくらホールで、新成人に対する6・9署名行動を行いました。昨年ほどではありませんが、それでも寒い中、参加した16人は元気に新成人・付き添いの保護者の人たちへ呼びかけました。

新しいのぼりを立て、“顔写真”ポスターも掲示し、印刷した『原水協通信』新年号のチラシを配布しながらの行動となりました。なかでも、昨年世界大会に参加した夫婦が先頭に立ってたくさん集めてくれました。これまでは屋外だけでのとりくみでしたが、昨年の市への要請の結果、入口の通路までの使用を認められ、よりやりやすくなりました。署名そのものへの抵抗も見受けられましたが、主旨をよく説明すると快く署名してもらえ、昨年を上回る210筆が集まりました。終わった後に反省会を持ち、3・1ピキニデーのとりくみや次回6・9行動の話をしました。

青年の署名で用紙が埋まる - 兵庫・神戸「灘・原水協」

神戸「灘・原水協」は6日、9日の両日午後、JR六甲道駅前、水道筋商店街で本年最初の「6・9行動」を行いました。それぞれ1時間の行動で13人の参加でしたが、合計で署名156筆、5935円の心あたたまる被爆者支援の募金が寄せられました。特に6日はまだ冬休み中とあって半数近くが中・高・大学生、青年の署名で用紙が埋まりました。数年来の被爆者の方々との交流の中で、昨年12月の総会で、「灘・原水協」常任理事を引き受けてくださった被爆者の方が、年末年始に集めた25人分の署名と1100円の募金を携えて参加しました。また、署名しつつ新しいポスターに「たいへん有名なみなさん」「ほんまに引き受けてくれたん？」と驚きの目で問いかける人がいました。女子中学生は自転車を降りて駆け寄りながら「私も署名してええのん？」とサイン。「署名って効果あるん？詳しく教えて」などの質問も。行動参加者の説明に快く署名してくれました。

青年を事務局に迎え地道なとりくみ

「灘・原水協」は、組織を再建して以来7年にわたり、毎月2回の「6・9行動」を継続しています。月1回の会議の厳守、毎年の総会、ニュースの発行、一昨年から青年男女の2人を事務局長・次長に据え、地道にとりくんでいます。これから今月の関西原水協学校、3・1ピキニデー集会を皮切りに、来春NPT再検討会議へ派遣しようと頑張っています。

「非核日本宣言」運動を全国に広げよう

委員会・本会議とも全会一致で意見書可決 東京・小金井

小金井市議会は2008年12月16日、日本政府に「非核日本宣言」を求める意見書を全会一致で可決しました。2008年度の運動方針に同宣言の実現を推進することを掲げ、石村東京原水協事務局長を講師に学習会を開いたり、関連して米軍横田基地、航空自衛隊入間基地を見学するバスツアーなどを行いました。12月議会に大鳥理事長名で陳情を行ったところ、委員会・本会議とも全会一致で可決されました。

3万5千世帯に署名用紙郵送
千葉
千葉民医連は友の会平和部、労働組合の三者協議会で協力して2010年春までに2万筆の目標をやり遂げるため、3万5千世帯に「核兵器のない世界を」署名用紙を郵送することを決め、県原水協に注文がありました。